

## 研究協力のお願ひ

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

研究課題名：被包化腭壊死と *Candida lusitaniae* 血症を併発した 1 症例

### 1. 研究の対象

2020 年 10 月～2021 年 1 月に当院で入院し血液から *Candida lusitaniae* が検出された方

### 2. 研究目的・方法

カンジダ血症は血液からカビの 1 種であるカンジダが検出される感染症です。死亡率が高く、高齢者や免疫抑制患者（免疫抑制剤使用中の人や透析患者など）における日和見感染症（一般的な抵抗力を持っている人には感染症を起こさない弱毒微生物や通常は無害といわれる細菌が原因で起こる感染症）として極めて重要な疾患です。カンジダ血症の原因菌としては、カンジダという菌種の中でも特に *Candida albicans* という名前の菌がその多くを占めています。カンジダの菌種には多くのものがありますが、*Candida lusitaniae* という菌種が血液培養から検出された報告はほとんどありません。本研究では、急性腭炎の治療中に血液培養より *Candida lusitaniae* が検出された症例を経験したため症例報告を行います。本研究では、入院中の患者さんのデータを取得します。患者さんのデータは、病院内の診療録管理室にて「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。

### 研究期間

昭和大学横浜市北部病院臨床試験審査委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから 2022 年 3 月まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、年齢、性別、身長、体重、投与薬物、処置内容、血液検査データ、CT・X線写真

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも

患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 薬剤部 研究責任者：詫間 章俊

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7000